

丸の内会場
+ オンライン
同時開催!

資本市場を意識したM&Aの意思決定

～コーポレートガバナンス時代のM&Aとは?～

日時

2024年3月12日(火) 11:30～13:30 (受付開始 11:15)

※ オンラインは 11:50 開始となります。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会場参加
(昼食付き)

: 会員 3,000 円 / 一般 6,000 円 (税込・当日、会場にてお支払いください)

オンライン

: 会員 2,000 円 / 一般 3,000 円 (税込・オンライン決済でお支払いください)

2023年における日本企業が関わったM&Aは、金額ベースで17兆9千億円、件数ベースでは4015件であった。これは、金額ベースでは22年から5割増えているものの、件数ベースで見ると過去最高となった22年からは7%の減少となっている(レコフデータ調べ)。特徴的なディールは、日本産業パートナーズ(JIP)による東芝の非公開化、円安のなかでも日本製鉄によるUSスチール買収などの海外大型ディール、大正製薬やアウトソーシング、ベネッセなどのMBOが相次いだことなどが挙げられる。

大きなトレンドとしては、M&Aは年々増加している。そのM&Aに対して資本市場は、企業価値を上げるディールを期待するが、実態は、そうっていないケースが少なくない。何が原因なのだろうか? また最近では、資本市場を出て行く動きが目につく。前述のMBOや東芝の件がその事例である。こういった動きが起こる背景には何があるのだろうか?

コーポレートガバナンス改革が浸透した現在、企業価値向上を目的とした成長戦略や事業ポートフォリオの見直しのため、資本市場を意識しなければと自覚する企業が増えている。そこで今回のセミナーでは、取締役会において、今後ますます重要な議題となるこのテーマを取り上げることとなった。長年にわたりM&Aの最前線で活躍されている講師をお迎えし、企業がM&Aへの向き合い方をどう変えて来ているのか、これからの課題は何かについて解説していただく。

講師

岡 俊子 (おか としこ) 氏

株式会社岡&カンパニー 代表取締役社長

1986年に等松・トウシュロスコンサルティング株式会社(アビームコンサルティングおよびデロイトトーマツコンサルティングの前身)に入社。その後グループ内移籍等を経て、株式会社岡&カンパニーでは、M&A戦略や経営戦略の策定支援、M&Aのディール支援、ポストM&A(PMI)のコンサルティングサービスを提供。明治大学MBA(グローバル・ビジネス研究科)専任教授。ソニーグループ株式会社社外取締役、株式会社ハピネット社外取締役、日立建機株式会社社外取締役、ENEOSホールディングス株式会社社外取締役、株式会社産業革新投資機構(JIC)社外取締役。著書は、「資本コスト」入門、「子会社売却」の意思決定(いずれも中央経済社)など。一橋大学卒業、米国ペンシルベニア大学ウォートン校MBA。



今後の勉強会予定

第151回 【題目】ビッグモーター事件の事例研究(仮題)

4月17日(水)13時 【講師】樋口晴彦氏(警察大学)

第152回 【題目】資本主義の中心で、資本主義を変える(仮題)

5月21日(火)13時 【講師】清水大吾氏(元ゴールドマン・サックス証券 グローバル・マーケット部門株式営業本部業務推進部長)

お申込み

会場・オンラインそれぞれお申し込み方法が異なります。詳細はご案内メールにてご確認ください。

メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 seminar@icgj.org

会場のご案内

会場 **AP 東京丸の内**

住所 東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階
Tel: 03-5224-5109

交通 JR・丸ノ内線「東京駅」／丸の内線・千代田線・半蔵門線「大手町駅」から徒歩約4分
都営三田線「大手町駅」D6出口直結



主催

ICGJ

一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会

ウェブサイト: www.icgj.org | Mail: contact@icgj.org | Tel: 03-3539-3208

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-6 クロスオフィス内幸町 3F